

◎ 展示会・イベント情報

1. 第15回 ライフスタイル総合 WEEK【夏】開催

世界中から、あらゆるジャンルの商材が集まる総合展。8つの専門展(第11回国際テーブル&キッチンウェア EXPOを含む)で構成する「第15回ライフスタイル総合 WEEK【夏】」が2020年9月2日(水)～4日(金)まで、東京ビッグサイト(西展示棟)で開催されます。

詳しくは HP (<https://www.lifestyle-expo.jp/ja-jp/about.html>) をご覧ください。



<開催概要>

会期: 2020年9月2日(水)～4日(金)
10:00～18:00(最終日のみ 17:00 まで)

会場: 東京ビッグサイト 西展示棟
〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1
TEL: 03-5530-1111

主催: リードエグジビションジャパン(株)

◎ 美術館情報

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

1. 愛知県陶磁美術館【愛知・瀬戸】 (<https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/>)

8月8日(土)～9月27日(日)

特別展: The 備前 —土と炎から生まれる造形美—

桃山時代に茶人の間で愛された古備前の名品、その古備前に魅せられ作陶に取り組み、現代の備前を確立しようと先達から受け継いだ技術を活かし活躍する人間国宝を含む現存作家から新進気鋭の若手の個性的な作品までを一堂に紹介します。



2. 三井記念美術館【東京・中央区】

(<http://www.mitsui-museum.jp/exhibition/schedule.html>)

8月1日(土)～8月31日(月)

開館15周年記念特別展: 三井家が伝えた名品・優品 第2部「日本の古美術」

本展は、当館で所蔵する三井家伝来の美術品のうち、国宝・重要文化財を含む、最高の作品を選んで展示いたします。第2部では日本画や古筆などの書跡、陶磁器や漆器、超絶技巧の工芸など、館蔵品の核となっている作品を多数展示いたします。



3. 兵庫陶芸美術館【兵庫・篠山】 (<https://www.mcart.jp/exhibition/#jikai>)

9月12日(土)～11月29日(日)

開館15周年記念特別展: 出石焼—但馬の小京都で生れた珠玉のやきもの

「雪よりも白い」と表現される白磁が特徴的な出石焼は、江戸時代後期に創業した兵庫県内の多くの窯場が廃窯していく中でさまざまな困難を乗り越え、やきものづくりが続けられています。本展では当館の所蔵品に加え、各地の博物館や美術館、個人が所蔵されている優品を一堂に会し、その歴史や技法などを紹介します。

4. サンリツ服部美術館【長野・諏訪】 (<http://www.sunritz-hattori-museum.or.jp/schedule/main.html>)

6月14日(日)～9月22日(火・祝)

企画展: 染付—うつわに広がる 青の世界—

染付は、素焼きの素地にコバルトを含む青い顔料で絵付を施し、その上から透明な釉薬を掛けて焼成したやきものです。中国や韓国では、青い文様を意味する「青花」という名称がつけられています。日本ではもともと(絵のある)藍染の布を「染付」と呼んでいましたが、いつの頃からか青花磁器を染付と呼ぶようになり、親しまれてきました。本展では、当館の所蔵品のなかから中国・日本・ヨーロッパでつくられた染付の作品をご紹介します。生産された時期や場所によって異なる青の色合いや文様をご覧頂きながら、多くの人々に愛された染付の世界をお楽しみください。

